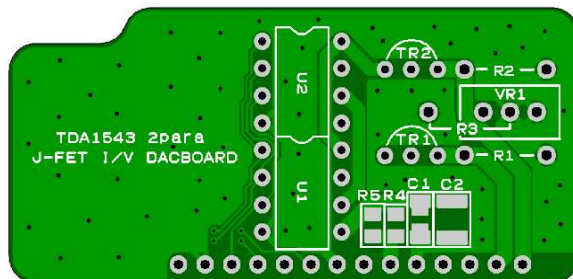


TDA1543 2para J-FET I/V Board Ver2 部品表 2022/8/13版



黄色の部品は付属しています。

定数	部品番号等	数量
メイン基板		1
470	千石、若松など DALE PRPなどの1/4サイズR1,R2	2
680-1K	千石、若松など DALE,PRPなどの1/4サイズR3 (秋月P-01031があると楽 VR1)	1
2以下 2012サイズ	千石等 R4,R5	2
0.1uF 50V PMLCAP	秋月 P-07396 C1	1
220uF 6.3V	秋月 P-08261 C2	1
2SJ498 J-FETならNチャン、Pチャン、どちらも使えます。かなり音に影響します	秋月 I-11509 TR1,TR2	2
8pin DIPソケット	秋月 P-00035	2
ピンヘッダ (オスL型) 1×40 (40P)	秋月 C-01627 (切って使う。2台分取れる)	1
TDA1543	AITENDOなど。U1,U2	2

免責事項

- 1) 本基板は実験基板であり、親戚なキットではありません。 技術サポート等は一切行いません。
- 2) 基板の動作の完全性(安全性、動作性を含む)は一切保証されるものではありません。
- 3) 本資料を参考に組み立て(部品調達を含む)が可能な方を対象としています。
- 4) 部品調達に関する質問に一切お答えはできません。
- 5) 本基板使用に伴う事故等に関して、一切の責任は負いません。自己責任でお願いします。
- 6) 本基板の著作権は放棄していません。同一のアートワークでの販売は禁止します。

データフォーマットについて

MAX側の設定は、「I2S」となります。

R3について

R3はVREFで、個体差が出る可能性があります。おおよそ820-825の抵抗で私の環境は合いました。

個体ごとに変わる部分なので、まずは2Kの可変抵抗(秋月P-01031)をいれて最適値を見つけてください。

音量80程度で、音楽を再生し、音が割れないポイントにしてください。

オシロを持っての方は、1KHzのサイン波を再生して、Vppがいちばん取れて、かつ、波形の山谷がきれいな場所に調整してください。

可変抵抗の値を固定抵抗で作れそうであれば、固定抵抗のほうが良いと思います。

R4,R5について

調整後、最大音量で音が歪むのが気になる場合はR4,R5の調整を行ってください。

TDA1543は50mA引きますのでR4,R5によって0.1Vくらい電源電圧がドロップします。

この抵抗が低ければ低いほど電圧がドロップしません。

よってここを0オームにして歪が改善するか確認してください。

(0オームだとフィルタが効かなくなるので、ノイズが出るかもしれません。)

0オームでも駄目なら、R1,R3 (IV) の値を上げて、R3を再調整してください。(最大音量は下がる形になります)

組み立てについて

基板の裏面はリード部品の足が飛び出ないようにツライチカットした上、絶縁を行ってください。